

# 産業技術振興会 NEWS

2008. 6. 24

## 平成20年度 定時総会が開催されました。



6月23日、産業技術振興会の平成20年度定時総会が仙台市内・ガーデンパレスにおいて開催されました。

総会では2007年度事業報告・決算、および2008年度事業計画・予算、役員改選案などが承認されました。退任された大見川 幹生氏に代わり、新会長に 武井 明氏（株式会社日本セラテック 代表取締役社長）が選出されました。

また、総会の質疑応答では、当日ご出席くださった会員の方々から、多数のご意見とご助言をいただきました。



総会に引き続き、講演会が行われ、講演者に宮城工業高等専門学校名誉教授の庄司 彰氏をお迎えして、「みやぎ新世代技術者養成カレッジを通して地域連携」というテーマでご講演いただきました。

講演会のあと行われた交流会では、和やかな雰囲気にもまれつつ忌憚のない意見交換をするなど、参加された方々が交流を深めました。



### 平成20年度活動方針

産業技術振興会の事務局を置く宮城高専地域共同テクノセンターでは、設置当初から、公開講座等の催事をはじめとして、技術相談や展示会の出展など、地域の企業や自治体との窓口としてさまざまな業務を行ってきました。

平成21年10月に予定している宮城高専と仙台電波高専との統合・再編では、各校のテクノセンターがひとつにまとまり、効率的な運営を実現するために、地域イノベーションセンター、IT 先端開発センター、COOP 教育センターが設置される計画です。

地域イノベーションセンターは名取キャンパスに設置される予定で、技術相談や共同研究など、地域企業や自治体などの技術的連携が主たる業務となります。

IT 先端開発センター（広瀬キャンパス）は、公開講座等の情報機器を通じた貢献を目的としており、企業や自治体、大学等が主な対象となります。

また、COOP 教育センターは名取キャンパスに設置される予定で、インターンシップなどの地域への人材輩出や企業人材の育成が主たる業務となり、高専学生や一般が主な対象となります。

平成 20 年度では、従来の地域共同テクノセンターの活動に加えて、数年後に迎えようとしている将来計画を踏まえて地域企業や自治体との連携強化を図り、新たな取り組みについて計画を検討し催事を開催いたします。